

## 平成 28 年度廃棄物施策の実施状況について

## 1 ごみ処理施策の状況

## (1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

## ① 広報誌「広報ひろさき」【拡充】

掲載時期	掲載区分	掲載内容
毎月 1 日号	その他	たか丸くんのごみ減量速報
4/1	特集	使用済小型家電の宅配便回収
4/15	環境ニュース	衣類回収ボックス増設、再生資源回収運動協力団体募集
5/1	特集	生ごみ 3 キリ運動 ※裏表紙への掲載
	市政情報	ごみ集積ボックス設置事業費補助金、春季河川清掃美化運動
6/15	市政情報	古紙などの「資源ごみ回収ステーション」設置者募集
7/1	市政情報	資源物の拠点回収（回収ステーション・ボックスの設置場所）
8/1	特集	たか丸くんエコバージョン
8/15	環境ニュース	やめよう！不法投棄、野焼きはやめましょう
9/15	市政情報	エコストア・エコオフィス認定制度
10/15	市政情報	3R 推進月間
11/15	市政情報	ごみの減量化・資源化意見交換会のお知らせ（11月開催分）
12/15	市政情報	小型家電リサイクル、30・10（さんまる・いちまる）運動 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に加入！
1/1	市政情報	「循環のまち弘前」を目指して みんなで取り組む“3R”
1/15	市政情報	ごみの減量化・資源化意見交換会のお知らせ（1月～2月開催分）
2/15	環境ニュース	街なかカラス対策 （黄色防鳥ネットの貸し出し、ごみ集積ボックスの設置費補助）
3/1	市政情報	ごみの減量化・資源化意見交換会のお知らせ（3月～4月開催分）

※このほか、「暮らしの information」において、環境整備センター主催イベントを周知

※「市民便利帳くらし弘前 2017」にも 3 キリ運動記事を掲載

※「農業ひろさき」7/1・10/1 号にも掲載（事業系ごみの適正排出、不法投棄、野焼き）

※「弘前市ホームページ」においても随時周知

②ラジオ広報

●FMアップルウェーブ「ただいまごみ減量中!!」【新規】

毎回 10:10～10:15 頃放送（5分程度）

放送時期	放送内容（計 25 回）
9/26-30	ごみ処理のあゆみについて
10/3-7	ごみ処理の現状とこれまでの取り組みについて
10/10-14	ごみの組成分析調査結果について
10/17-21	ごみの収集体制について
10/24-28	ごみの分け方・出し方について①
10/31-11/4	ごみの分け方・出し方について②
11/7-11	市で収集できないごみの処分について①
11/14-18	市で収集できないごみの処分について②
11/21-25	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について①
11/28-12/2	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について②
12/5-9	水銀体温計などの薬局店回収モデル事業について
12/12-16	3キリ運動の推進について
12/19-23	「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」全国共同キャンペーンについて
12/26-30	年末年始のごみ収集日程、年末大掃除で出たごみの処理、新年に向けて弘前市の現状
1/16-20	冬期間のごみ出しの注意点などについて
1/23-24	H29 年度の日程表について
1/25-26	分別された資源物の行方について
1/27	市内中学校区での意見交換会の開催について
1/30-2/3	事業系ごみの適正処分について①
2/6-10	事業系ごみの適正処分について②
2/13-17	廃棄物減量等推進員制度について
2/20-24	再生資源回収運動について
2/27-3/3	引越しシーズンのごみ出しについて
3/6-3/10	ごみ関係出前講座について
3/13-17	リスナーから寄せられた問い合わせについて
3/20-24	平成 27 年度の実態調査結果による弘前の状況について
3/27-31	平成 29 年度から新規・拡充して実施する取り組みの紹介

●FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【拡充】

毎月第1金曜 11:30～11:40 頃放送（10分程度）

放送日	放送内容（計12回）
4/1	小型家電宅配便回収
5/6	生ごみ3キリ運動
6/3	H27 ごみ減量速報
7/1	資源物拠点回収設置場所
8/5	たか丸くんエコ Ver 紹介
9/2	カルチュアロードキャンペーン周知
10/7	3R 推進月間周知
11/4	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について
12/2	水銀体温計薬局回収事業について
1/6	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について
2/3	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について
3/3	ごみの減量化・資源化意見交換会の開催について

●FMアップルウェーブ「弘前市長 新春に語る」【継続】

平成29年1月1日（日）12:00～12:30（うち1分程度）

③テレビ広報

●弘前市広報テレビ番組「えがお弘前“ビタミンHi（ハイ）”」【継続】

タイトル	「循環のまち弘前」～弘前3・3運動の推進～
放送局	青森朝日放送（ABA）
日時	平成28年9月17日（土）11時30分～11時45分

④ごみ減量化・資源化推進イベント

●「ごみ減量・資源化推進キャンペーン」【拡充】

回数	1回目	2回目
出展場所	カルチュアロード (土手町)	弘前大学総合文化祭 (文京町)
日時	平成28年9月18日(日)	平成28年10月22日(土)・23日(日)
アンケート 回答者	716人	710人

●「弘前市廃棄物減量等推進員委嘱状交付式」(予定)【継続】

開催日	平成29年3月29日(水)
内容	①委嘱状交付式 ②講演/講師:岩手大学 人文社会科学部 教授 笹尾 敏明 氏 ③活動内容説明

⑤出前講座【拡充】

以下の5種類の講座を設定し、実施しています。

●実施実績 (H29.3.23 時点)

講座名	実施回数	人数
1. 分別ごみとリサイクル	10	267
2. はじめよう!ダンボールコンポスト	0	0
3. ごみの分け方出し方(事業所版)	1	9
4. あなたからはじめよう!生ごみの水切り	0	0
5. 地域のみんなではじめよう再生資源回収運動	1	20
合計	12	296

※平成27年度は8回実施

#### ⑥ごみの減量化・資源化意見交換会【新規】

市民の意見を聞き、今後のごみの減量化・資源化推進を図ることを目的とし、以下のとおり意見交換会を実施しています。

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| ○平成 28 年 11 月開催分  | 4 会場で実施 (5 回)             |
| ○平成 29 年 1～4 月開催分 | 16 会場で実施予定 (16 中学校区 33 回) |

#### ●実施実績 (H29.3.23 時点)

実施月	会場数	実施回数	人数
平成 28 年 11 月	5	5	216
平成 29 年 1 月	3	5	128
平成 29 年 2 月	4	8	54
平成 29 年 3 月	3	6	47
合 計	15	24	445

※このほか、3/25～4/23 までに 7 会場で実施予定

#### ⑦保健衛生座談会への出席【継続】

各町会の環境・保健分野において活動している保健衛生委員を対象とした座談会に出席し、ごみに関する現状の説明及び意見交換等を実施しています。

#### ●実施実績

実施月	出席回数	人数
平成 28 年 11 月	3	47
平成 29 年 1 月	6	168
合 計	9	215

※保健衛生座談会は、市内 27 地区を 3 年で巡回実施 (1 年あたり 9 地区)

#### ⑧その他会合等への出席【拡充】

その他各種団体からの要望等に基づき、会合等へ積極的に出席し、ごみに関する現状の説明及び意見交換等を実施しています。

●実施実績（H29.3.23 時点）

実施月	出席回数	人数
4～9月	2	24
10～3月	8	207
合計	10	231

（2）廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

●配置人数（H29.3.23 時点）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
設置町会数	272	276	279	273
配置人数	569	577	582	571

（3）古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌、雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

●回収実績及び売払い収入

品目	H25 年度		H26 年度		H27 年度		H28 年度 （～12/31）	
	回収量 （kg）	売払収入 （円）	回収量 （kg）	売払収入 （円）	回収量 （kg）	売払収入 （円）	回収量 （kg）	売払収入 （円）
新聞紙	578,160	5,080,757	564,320	5,192,975	558,230	5,502,141	433,770	4,364,482
雑誌・雑がみ	515,140	2,359,099	498,870	2,467,913	515,550	2,795,193	415,710	2,365,271
古紙類合計	1,093,300	7,439,856	1,063,190	7,660,888	1,073,780	8,297,334	849,480	6,729,753

#### (4) 新聞・雑がみ類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

##### ●回収ステーション設置場所

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町分庁舎 ⑤総合学習センター

##### ●回収実績及び売払収入

品 目	H25 年度		H26 年度		H27 年度		H28 年度 (~12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	52,526	66,183	43,390	60,913	37,594	60,897	28,821	46,687
雑誌・雑がみ	77,050	32,361	65,430	28,259	78,642	42,463	56,080	30,279
古紙類合計	129,576	98,544	108,820	89,172	116,236	103,360	84,901	76,966

#### (5) オフィス町内会の推進【拡充】

平成22年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。

##### ●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、 大鰐町、田舎館村、西目屋村

●回収実績及び会員数（弘前市分）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
会 員 数	126	137	221	261
回 収 量 ( k g )	101,149	111,541	187,118	342,184

●県内 4 地区回収実績推移（単位：kg）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
青 森 地 区	264,088	229,579	229,063	-
弘 前 地 区	136,930	149,461	228,776	398,924
西 北 五 地 区	28,402	33,434	46,490	-
十 和 田 地 区	14,1923	163,899	174,813	-

（6）再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る古紙類、アルミ缶等を資源回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績（単位：kg）

品 目		H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
古 紙 類	新 聞 紙	1,012,291	977,468	906,546	783,463
	雑 誌 類	424,130	405,510	393,432	333,677
	ダンボール	392,855	388,417	376,410	340,621
	紙 パ ッ ク	25,420	23,325	23,043	19,203
古 紙 類 計		1,854,696	1,794,720	1,699,431	1,476,964
ア ル ミ 缶		72,429	66,840	65,780	55,230
衣 類 ・ 布 類		10	2	4,114	7,544
ビ ー ル ケ ー ス		1,490	1,534	1,356	587
び ん		52,713	48,767	43,862	36,977
合 計		1,981,338	1,911,863	1,814,543	1,577,899



●報償金交付実績

年度 団体	H25年度		H26年度		H27年度		H28年度 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	64	2,367,144	63	2,313,916	66	2,359,268	67	2,095,016
婦人会	13	352,592	13	313,648	12	283,760	13	238,864
P T A	38	3,096,912	39	3,043,576	42	2,918,116	39	2,610,040
幼稚園・保育所	12	185,164	11	158,768	10	142,620	10	137,760
子供会	6	111,328	5	94,256	6	83,776	5	78,084
その他	46	1,812,212	48	1,723,288	42	1,470,632	37	1,151,832
合計	179	7,925,352	179	7,647,452	178	7,258,172	171	6,311,596

(7) 使用済小型家電リサイクル【拡充】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成24年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成28年3月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

●回収ボックス設置場所（11か所）

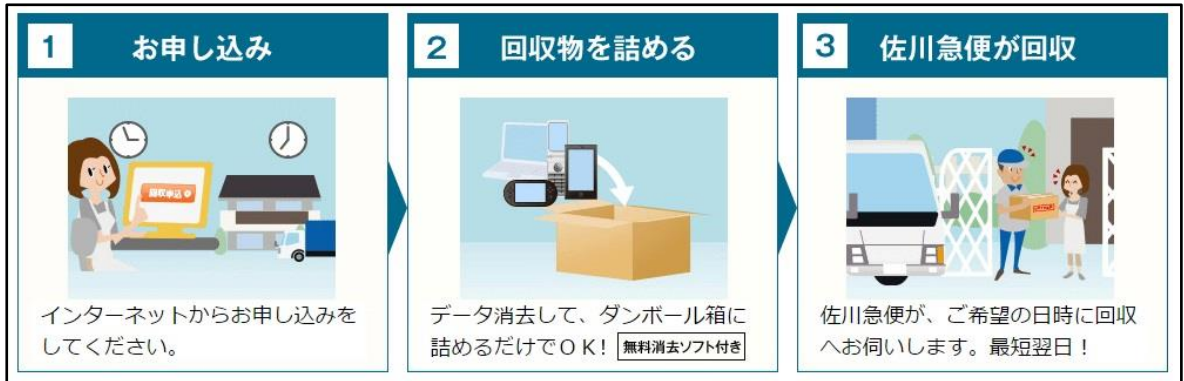
- |   |
|---|
| ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター<br>⑤ヒロロスクエア ⑥弘前地区環境整備センター ⑦ケーズデンキ弘前本店<br>⑧ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店<br>※その他、各出張所において窓口での回収を実施 |
|---|

●圏域8市町村会議開催

- ・担当課長会議 2回
- ・ワーキング担当者会議 2回

●宅配便回収概要

○利用の流れ



○利用料金

パソコンの有無	有り	無し
料 金	無料【優遇料金】	880 円 (H29.3.23 時点)

○対象

パソコン、携帯電話を含む使用済  
小型家電 (400 品目以上)

※箱のサイズは3辺合計で140センチ  
以内、重量は20キロ以内

※上記サイズ内に梱包できれば小型家電の  
数量制限なし

※優遇料金は協定締結自治体限定料金



●回収実績 (単位 : kg)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
ボックス回収	1,480	1,110	2,400	2,360
ピックアップ回収	-	-	6,388	8,315
イベント回収	-	-	-	12
宅配便回収	-	-	-	4,017
計	1,480	1,110	8,788	14,704

●小型家電リサイクル促進に向けた市町村支援事業への参加

環境省が実施した、シンクタンクの研究員が小型家電の回収量拡大を図りたい市町村へ赴き、費用便益分析やコンサルティングを実施する事業へ参加しています。

また、平成 29 年 3 月 17 日には事業参加自治体を代表し、東京都で開催された「市町村の小型家電リサイクルの取組に関する意見交換会」へ出席し、事例発表を行っています。※全国約 30 自治体が事業へ参加し、5 自治体が意見交換会へ出席

(8) 衣類回収【拡充】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しています。また、「(6) 再生資源回収運動」の回収品目にも追加しています。

●回収ボックス設置場所 (8 か所)

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎  
④総合学習センター ⑤ヒロロスクエア  
⑥清水交流センター ⑦千年交流センター ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター  
※H28.4 より、⑥～⑧を追加

●回収実績

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
回収量 (kg)	未実施	未実施	31,311	38,004

(9) 全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会への参加【新規】

「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動」を広く全国で推進し、食品ロスを削減することを目的として平成 28 年度に発足した、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」へ加盟しています。

また、宴会が増加する年末には、弘前料理飲食業組合 (48 事業者で構成) を訪問し、「宴会五箇条」が記載されたチラシを配布するなど、食品ロスの減量に取り組んでいます。

(10) 水銀添加廃製品回収促進事業への参加【新規】

水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進及び効果的な回収方策の検証を目的に、環境省が実施したモデル事業に参加し、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を、薬局の協力を得て回収しています。

なお、今後も水銀添加廃製品の回収を市役所等の公共施設で実施できないか検討を進めていきます。

●実施概要

実施時期	平成 28 年 12 月 ～平成 29 年 1 月 (2 か月間)
回収箇所	市内薬店 85 か所
参加自治体	全国 61 市町 ※県内では弘前市のみ



●実施実績

	水銀体温計	水銀温度計	水銀血圧計	合計
回収量 (個)	234	15	34	283

(11) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約半分を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入 1 基に対し、2,000 円の補助金を交付しています。

●補助金交付実績

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (～12/31)
補助基数	165	78	105	55
補助額 (円)	330,000	156,000	210,000	110,000

### (1 2) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約半分を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

#### ●貸与実績

	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
貸与台数	52	30	37

### (1 3) 事業所訪問【拡充】

当市のごみ処理の課題である事業系ごみ対策として、平成 27 年度から事業所を直接訪問し、ごみの排出ルールの確認や指導を行っています。

#### ●訪問件数

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
訪問件数	未実施	未実施	72	135

#### ●その他

- |         |             |                    |
|---------|-------------|--------------------|
| ○ 7/19  | 市長による事業所訪問  | 訪問先：(株)佐藤長、弘前商工会議所 |
| ○ 10/20 | 副市長による事業所訪問 | 訪問先：(株)小林紙工        |

### (1 4) 事業系ごみ適正排出指導【拡充】

平成 27 年度より事業所訪問とは別途に、市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、主に店舗兼住宅や小規模事業所を対象に、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を市内一斉に調査するとともに、排出元を特定し、指導を行っています。

#### ●指導実績

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度 (~12/31)
指導件数 (件)	未実施	未実施	90 件	53 件

### (15) リサイクル可能な古紙類の受入制限【継続】

事業系ごみのリサイクルを促進するため、平成28年4月より、弘前地区環境整備事務組合の協力を得て、リサイクル可能な古紙類の受入を制限しています。

また、リサイクルの方法として、県が整備している古紙類回収ネットワーク「オフィス町内会」への加入を促進しています。

### (16) 展開調査【継続】

事業系ごみにかかる今後の施策立案の基礎とするため、平成27年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される可燃ごみの展開調査を実施しています。

また、平成28年4月から実施しているリサイクル可能な古紙類の受入制限に伴う検査の役割も担っています。



#### ●展開調査実績

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (~12/31)
検査日数(日)	未実施	未実施	8	150
検査台数(台)	未実施	未実施	17	619

### (17) ごみ減量化・資源化推進に係るキャラクターデザインの作成【新規】

市民、事業者により一層、興味を持って3Rに取り組んでもらうことを目的に、当市のマスコットキャラクター「たか丸くん」をモチーフとしたエコバージョンデザインを作成しています。



### (18) 処分手数料の改定【新規】

弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する弘前地区環境整備センター及び南部清掃工場での処分手数料について、これまで安く設定されていた手数料を適正化し、ごみの減量化・資源化を推進するために引き上げられています。

#### ● 中間処理施設での処分手数料

	平成 28 年 3 月まで		平成 28 年 4 月より
燃やせるごみ	50kg 未満	無料	10kg までごとに 100 円
	50kg	250 円	
	50kg 超	250 円+50kg を超える 10kg ごとに 50 円	
燃やせないごみ 大型ごみ	100kg 未満	無料	10kg までごとに 125 円
	100kg	1,250 円	
	100kg 超	1,250 円+100kg を超え る 10kg ごとに 125 円	
資源ごみ (容器包装のみ)	無料		無料

※手数料は、上記に消費税相当額を加算した後、10 円未満の端数を切り捨てた額

### (19) 一般廃棄物組成分析調査【拡充】

ごみの排出状況を把握するとともに、どのような種類のごみがどの程度含まれているか（組成割合）を調査し、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料としています。今年度は「家庭系その他の紙」の分析を新たに実施しました。

●実施回数

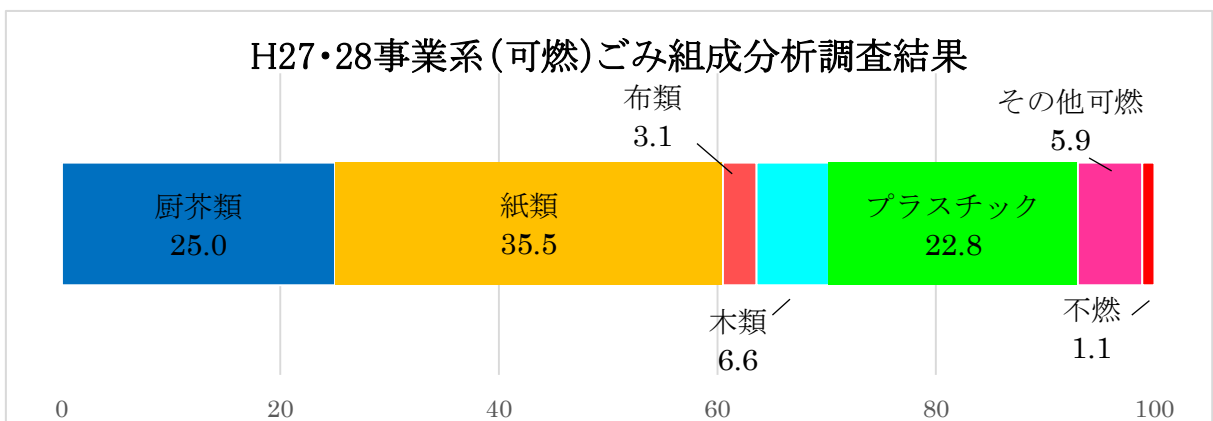
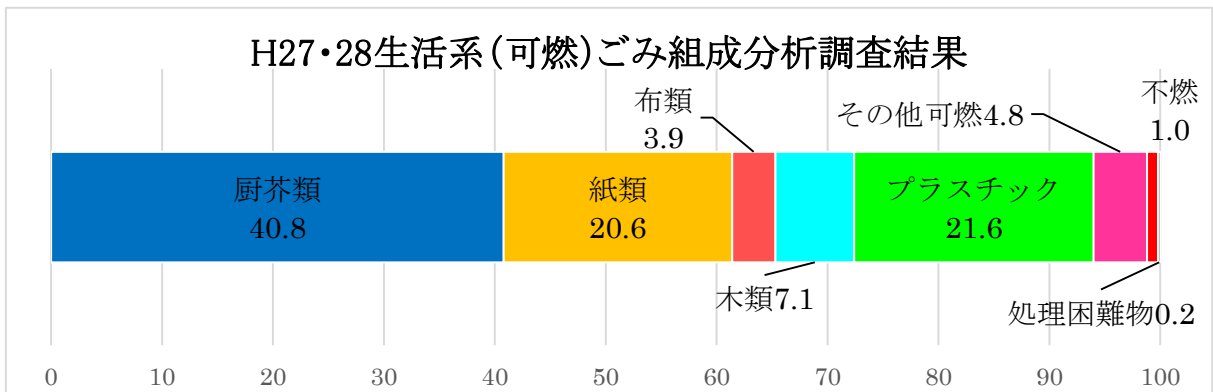
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
家庭系燃やせるごみ	未実施	未実施	7 回	7 回
家庭系その他の紙	未実施	未実施	未実施	2 回
事業系燃やせるごみ	未実施	未実施	7 回	5 回

※平成 23～24 年度は直営で年 1～2 回程度実施

●想定条件ごとの実施回数（家庭系燃やせるごみ調査）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
学生居住地域	-	-	1 回	1 回
商業地域	-	-	1 回	2 回
住居地域	-	-	3 回	2 回
農村地域	-	-	2 回	1 回
住居兼工業地域	-	-	0 回	1 回

●調査結果（平成 27～28 年度）





## 2 生活排水処理施策の状況

### (1) 合併浄化槽整備事業費補助金【継続】

下水道及び農業集落排水施設の計画処理区域外での生活排水の適正処理を推進するため、新たに合併処理浄化槽を設置する際に費用の一部を補助しています。

#### ●補助基準額

人槽区分	5人槽	6～7人槽	8～10人槽
補助限度額(円)	352,000	441,000	588,000

※これらの補助金には、国の循環型社会形成推進交付金(1/3)及び県の浄化槽整備費補助金(1/6)が含まれるため、市負担額は(1/2)となる

#### ●補助実績

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
補助基数	5人槽	2	2	0	0
	6～7人槽	3	0	1	0
	8～10人槽	0	0	0	0
補助額(円)		2,027,000	704,000	441,000	0

### (2) 住民に対する広報、啓発【継続】

市の広報誌を活用し、生活雑排水対策の必要性や重要性のほか、合併浄化槽整備事業費補助金の周知を実施しています。

#### ●広報誌「広報ひろさき」

掲載時期	掲載区分	掲載内容
9/15	市政情報	合併処理浄化槽整備補助金の活用を
10/1	市政情報	浄化槽を正しく使いましょう